

平成 26 年 9 月 8 日  
株式会社日本政策金融公庫**日常生活に密接に関係した生活衛生関係営業の景況に持ち直しの動き続く**  
日本公庫「生活衛生関係営業の景況動向等調査（2014 年 4～6 月期）」より※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。**【調査結果のポイント】****○売上、業況判断 D I は過去 15 年間で最高値。飲食業の景況の持ち直しが顕著**

生活衛生関係営業の 2014 年 4～6 月期の売上、採算、業況判断の各 D I は▲14.6、▲3.0、▲12.7 となり、前年同期に対してそれぞれ 8.1 ポイント、4.1 ポイント、2.4 ポイント上回りました。いずれも 5 期連続で前年同期を上回っており、生活衛生関係営業の景況は持ち直しの動きが続いています。中でも、売上 D I、業況判断 D I は過去 15 年間で最高値となっています。

業種別にみると、飲食業、理容業、映画館の 3 業種で、業況判断 D I が前年同期を上回りました。特に、最も回答企業の多い飲食業では、売上 D I、業況判断 D I が過去 15 年間で最高値となっています。これは、消費税引き上げ後、家計の消費支出全体は落ち込んだものの、外食などへの消費は堅調に推移したものと考えられます。

また、来期（2014 年 7～9 月期）の業況判断 D I 見通しは▲12.1 となり、今期に比べ 0.6 ポイントの上昇を見込んでいます。

**<特徴的な業況判断（好転）理由>**

- ・消費税引き上げ分メニュー単価を上げたが、客入りはほとんど変わらなかった（そば・うどん店、茨城県）
- ・景気が良くなり、接待関係の利用が増えた。家族や女性同士の利用も増えた（料理店、宮城県）
- ・消費税引き上げ後も利用頻度は変わっていない。むしろ増加しているようだ（料理店、山形県）
- ・消費税アップで客足が落ちることを想定し、記念日など特別な場面で利用しやすいコースメニューを打ち出したところ、好評だった（その他飲食店、三重県）
- ・「アナと雪の女王」の大ヒットで活気づいた（映画館、京都府）
- ・景気が少し良くなっているせいか、来店ペースが速くなっている（理容業、三重県）
- ・消費税アップを差別化のタイミングと捉え、お客様に高品質の材料を使用していることを PR したことが功を奏した（美容業、東京都）

**<お問い合わせ先>**日本政策金融公庫 国民生活事業本部 生活衛生融資部  
生活衛生情報支援グループ 担当：野俣、谷藤 TEL 03-3270-1653

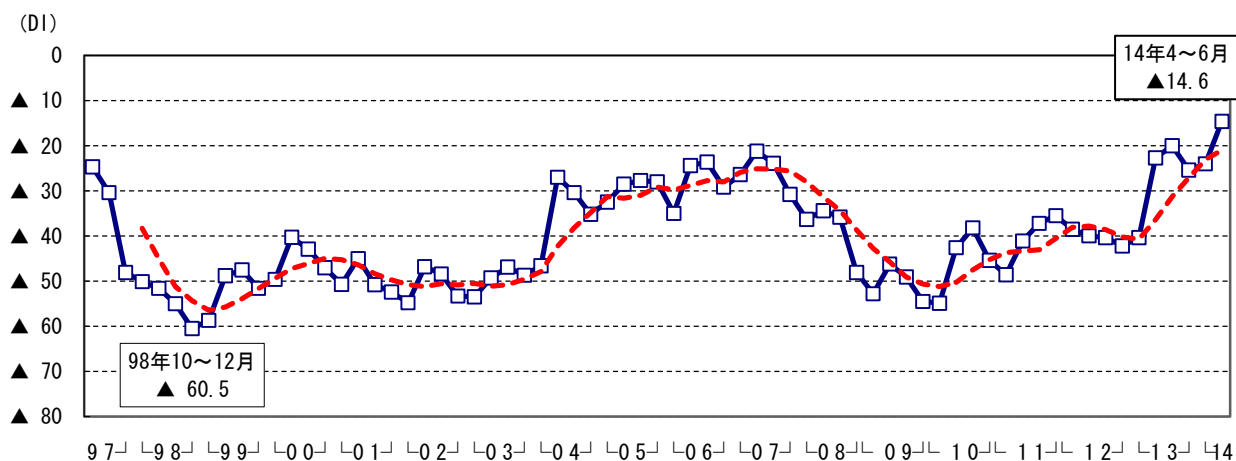
## 【調査概要】

生活衛生関係営業の景気動向等調査は、全国の生活衛生関係営業の主な業種について、その景気や設備投資の動向などを把握するため、定期的に(年4回)実施しているものです。

調査時点	2014年6月下旬			
調査方法	個別訪問面接			
調査対象	生活衛生関係営業 3,220 企業			
有効回答企業数	3,074 企業 (回答率 95.5%)			
(業種内訳)	飲食業	1,471 企業	映画館	53 企業
	食肉・食鳥肉販売業	147 企業	ホテル・旅館業	168 企業
	氷雪販売業	58 企業	公衆浴場業	112 企業
	理容業	369 企業	クリーニング業	255 企業
	美容業	441 企業		

### 参考1 売上DIの推移

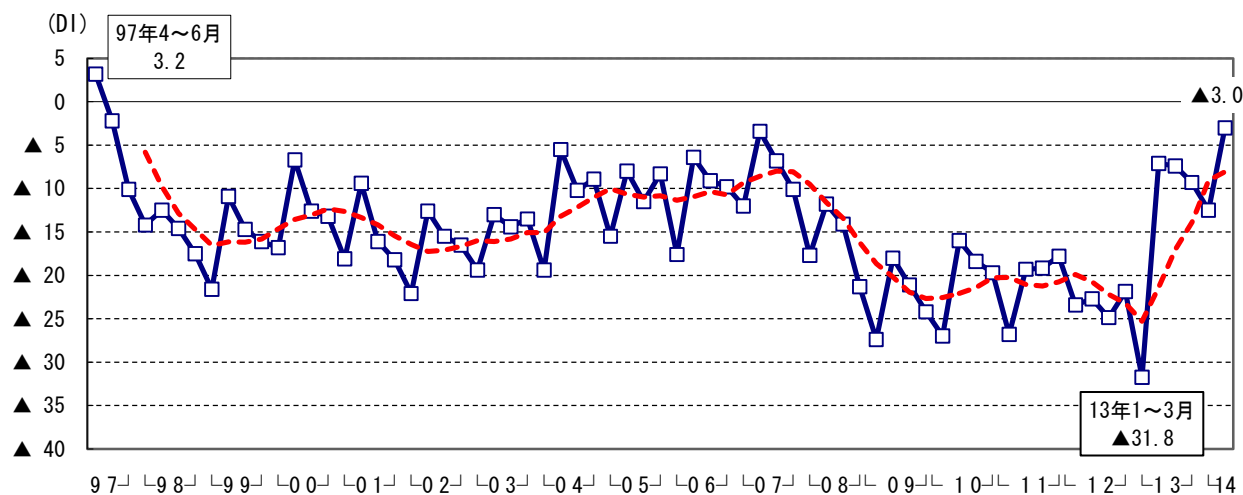
売上DI = 前年同期比「増加」企業割合 - 「減少」企業割合



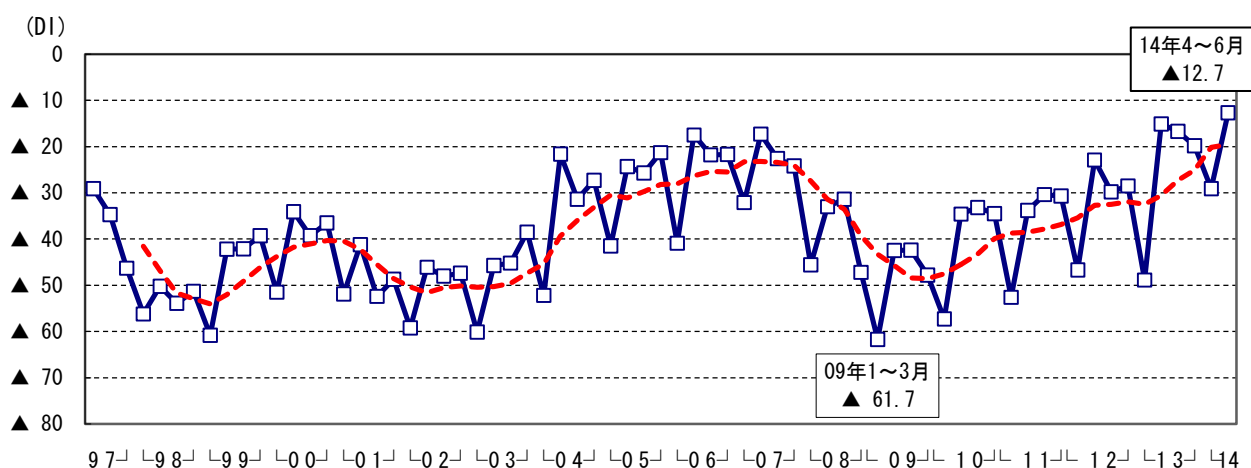
- (注) 1 点線は4期間移動平均 (以下同じ)  
2 四角囲いは近年の最低値及び最高値 (以下同じ)

### 参考2 採算DIの推移

採算DI = 当該期「黒字」企業割合 - 「赤字」企業割合



**参考3 業況判断D Iの推移** 業況判断D I = 前期比「業況好転」企業割合 - 「業況悪化」企業割合



**参考4 売上、採算、業況判断D Iの今期D Iと前年同期実績との差**

業種	売上D I (前年同期実績との差)	採算D I (同左)	業況判断D I (同左)
飲食業	▲10.9 (11.7↗)	▲7.3 (5.5↗)	▲13.6 (7.3↗)
美容業	▲24.5 (▲8.1↘)	2.5 (4.1↗)	▲18.1 (▲6.6↘)
理容業	▲27.2 (8.0↗)	▲1.1 (3.8↗)	▲13.3 (3.0↗)
クリーニング業	▲17.6 (11.7↗)	8.6 (▲2.7↘)	7.8 (▲3.1↘)
ホテル・旅館業	▲5.4 (1.4↗)	▲3.6 (10.0↗)	▲16.7 (▲8.2↘)
食肉・食鳥肉販売業	▲8.2 (5.8↗)	▲3.4 (▲9.7↘)	▲29.9 (▲11.7↘)
公衆浴場業	▲25.0 (▲3.4↘)	▲13.4 (▲7.1↘)	▲33.0 (▲15.9↘)
氷雪販売業	▲13.8 (1.7↗)	1.7 (0.0→)	8.6 (▲1.7↘)
映画館	39.6 (79.6↗)	18.9 (44.4↗)	45.3 (87.1↗)
生活衛生関係営業全体	▲14.6 (8.1↗)	▲3.0 (4.1↗)	▲12.7 (2.4↗)

**参考5 業況判断D Iの来期見通しと今期実績との差**

業種	業況判断D I 見通し (今期実績との差)
飲食業	▲9.0 (4.6↗)
美容業	▲9.8 (8.3↗)
理容業	▲11.9 (1.4↗)
クリーニング業	▲49.0 (▲56.8↘)
ホテル・旅館業	4.8 (21.5↗)
食肉・食鳥肉販売業	▲8.2 (21.7↗)
公衆浴場業	▲28.6 (4.4↗)
氷雪販売業	20.7 (12.1↗)
映画館	▲5.7 (▲51.0↘)
生活衛生関係営業全体	▲12.1 (0.6↗)